

小田原史談会創立55周年記念

『小田原史談』 目次(一覽)

(第二〇四号〜第二二五号)

二〇〇六年(平成十八年)

第二〇四号(平成十八年一月発行)

小田原史談会五十年の歩み

小田原史談創立50周年記念講演

小田原ゆかりの人々

(石野瑛・田代亀雄・岡本太郎)

酒匂史談と地震日記

中野先生と立木先生

50年のほぼ半分

明治時代、足柄下郡の名士など(3)

(酒匂・早川・石橋・米神・根府川・

江ノ浦・福浦・岩・真鶴)

自句自解

落穂集

小田原史談会創立50周年記念式典開催

50周年記念懇談会

「50年の歩み」展示概要(一)

東海道五十三次宿場めぐり実施報告

(藤沢―三島、知立⇨亀山)

第二〇五号(平成十八年三月発行)

下曾我の空の下で

「風土記残冊」を読んで

小田原の郷土史再発見

上杉謙信と曾我社

足柄平野の小字

地名行脚(三)

堀之内村の誕生

北条幻庵は晩年呼吸器を患っていた

のではなかったらうか?

落穂集

尾張―伊勢、旅のつれづれ

小田原叢談(52)

「梅干の味」

片岡日記(34)

(大正十五年一月)

明治時代、足柄下郡の名士など(4)

(吉濱・土肥・大窪・湯本・温泉・箱根町・

元箱根・蘆ノ湯・仙石原)

自句自解

東海道五十三次宿場めぐり

(府中⇨島田)

平成十八年度総会、講演会のお知らせ

『小田原史談』一九八号が縁になって、

モンテンルパの会、全国大会へ

「50年の歩み」展示概要(二)

第二〇六号(平成十八年七月発行)

太平洋戦争の頃の話

戦前戦後の電力事情

小田原叢談(53)

「しろうと史話」はじめに」

酒匂町小八幡へ焼夷弾投下

小田原の郷土史再発見

小田原戊辰戦争の予兆と邂逅

補遺・小田原が暗転した日

長門の浦

旅のつれづれ俳句日記

明治時代、足柄上郡の名士など(1)

和田 治助

木村 博

植田 博之

田中 豊

石井富之助

片岡永左衛門

中村 静夫

剣持 芳枝

勝俣淳一郎

武田 敏治

佐久間俊治

市川 一郎

石井富之助

譲原 良二

石井 啓文

高田 掬泉

剣持 芳枝

(中村・曾我・金田・松田・上秦野)

二宮尊徳先生並びにそれに続く者の大志と実践

江戸時代の小田原地方の酒

関東大震災の片浦村米神あたり

我が歌舞伎事始

落穂集

東海道五十三次宿場めぐり実施報告

平成十八年度総会報告

第二〇七号 (平成十八年十月発行)

北条早雲「虎朱印」の謎を解く

小田原の郷土史再発見

湯河原「広部橋」の由来

〔箱根戊辰戦争余聞〕

『国民学校一年生』

戦時下のこどもたち (上)

旅のつれづれ俳句日記

僕が使っていた酒匂地方の言葉

瓜生との出会い

小田原叢談 (54)

「小田原・箱根の唱歌」

明治時代、足柄上郡の名士など (2)

(川村・共和・北足柄・南足柄・福澤・酒田)

小田原宿の雁木 (町) とは?

小田原を、どういふ都市と考えて

まちづくりするか

平成十八年度総会報告 (続き)

東海道五十三次宿場めぐり

(浜松Ⅱ 二川)

落穂集

二〇〇七年 (平成十九年)

第二〇八号 (平成十九年一月発行)

終戦直後の小田原における

文芸雑誌発行状況

故岡部忠夫先生を偲んで

中興の人

岡部忠夫先生の思い出

—私が中学生の時から教えを受けた先生—

小田原の郷土史再発見

ニコライ堂の植田又兵衛と廣石廣助

小田原の商店街 (一)

国際通り商店街

『国民学校一年生』

戦時下のこどもたち (下)

旅のつれづれ俳句日記

小田原の郷土史再発見

大久保忠朝の通信簿

『小田原史談』編集の師 岡部先生

明治時代、足柄上郡の名士など (3)

(櫻井・岡本・上中村・山田・世附・

中川・玄倉・神縄・川西・谷ヶ・

井ノ口・寄・吉田島)

岡部先生が史跡めぐりの参加をやめようとした日

東海道五十三次宿場めぐり

(吉田Ⅱ 岡崎)

岡部会長の意志をついで

私の眼でとらえた「街さまざま」

第二〇九号 (平成十九年三月発行)

宝永の富士山噴火と小田原藩

中村 静夫

井上 成一

瀬戸 崎雄

植田 博之

田中 豊

植田 博之

勝俣淳一郎

石口健次郎

石井 啓文

平倉 正

劍持 芳枝

譲原 良二

小林 一夫

石井富之助

中村 静夫

尾上 武

小野 意雄

勝俣淳一郎

植田 博之

木内 英美

小野 意雄

青木 良一

田口 鏡子

石井 啓文

史料委員会

平倉 正

劍持 芳枝

石井 啓文

植田 博之

中村 静夫

勝俣淳一郎

勝俣淳一郎

鳥居泰一郎

足立久一・出縄茂・河井輝彦
高杉昭廣・本田貞勇

地域の三つの神社について

(小台・新屋・柳新田)

「続・日本紀」に触れて

小田原叢談(55)

「小田原・箱根の唱歌」その二

落穂集

産土紀行

小田原消防組と幸町界限(二)

小田原の郷土史再発見

酒匂川の仮橋と酒匂橋の歴史

「甦った木橋」

小田原の商店街(二)

銀座通り商店街

旅のつれづれ俳句日記

国府津の歴史は国鉄とともに

史跡めぐり案内(石垣山一夜城から長興山へ)

小田原の郷土史再発見

木挽棟梁一代記と竹花町の町並み

平成十九年度総会、講演会のお知らせ

片岡日記(35)

(大正十五年二月)

第二一〇号(平成十九年七月発行)

鈴鹿越・近江路紀行

(東海道五十三次 関宿〜京三条)

小田原の郷土史再発見

稲葉正則・正通の通信簿

旅のつれづれ俳句日記

続・酒匂史談(1)

片岡日記(36)

(大正十五年三月)

小田原叢談(56)

「小田原・箱根の唱歌」その二の続き

新刊紹介

『小田原市史ダイジェスト版 おだわらの歴史』

集まって、好きなテーマを選び、

一緒に勉強しませんか

「富士山宝永噴火と酒匂川」

—酒匂川の治水神を考える—

平成十九年度総会報告

半世紀の時を経て

落穂集

史跡めぐり実施報告

第二一一号(平成十九年十月発行)

明治十六年甲部巡察使復命書抜粋

小田原の郷土史再発見

下田隼人の処刑と大庄屋「事件は史実か」

続・酒匂史談(2)

川瀬速雄氏を偲ぶ

明治初期の水準点「高低凡號」から思うこと

小田原の郷土史再発見

平井忠右衛門の起請文

旅のつれづれ俳句日記

小田原叢談(57)

「拾遺 小田原・箱根の唄 上」

片岡日記(37)

(大正十五年四月)

小田原の商店街(3)

竹の花通り商店街

ご近所紀行

—古清水旅館と空襲体験—

片岡永左衛門

石井富之助

佐久間俊治

大脇 良夫

植田 博之

平倉 正

研修委員会

齋藤清一郎

石井 啓文

川瀬 速雄

植田 博之

井上 三男

石井 啓文

剣持 芳枝

石井富之助

片岡永左衛門

史跡めぐりご案内（飛鳥史跡）

初詣ご案内（深川七福神めぐり）

東海道五十三次宿場めぐりに参加して

— 日本橋から京都三條大橋まで —

落穂集

史談再録（1）

小田原旧町散歩

少年たちの「夢の王国」

「少年倶楽部」（前）

二〇〇八年（平成二十年）

第二一二号（平成二十年一月発行）

産土紀行（二）

お正月と浜と海

西岡逾明—ある文人司法官の生涯（1）

旅のつれづれ俳句日記

南朝の忠臣・平成輔卿の墓にまつわる余話

小田原の郷土史再発見

下曾我・城前寺 縄文時代の柄鏡形敷石住居跡

続・酒匂史談（3）

小田原叢談（58）

「拾遺 小田原・箱根の唄 下」

『小田原叢談』を終えて

「日向屋敷」のいわれについて

片岡日記（38）

（大正十五年四月、五月）

小田原中学校第二代校長阿部宗孝（陸柱）

先生遺稿集追悼録『思い出の陸柱』

史談再録（2）

民俗探訪「子供るす」

史跡めぐりご案内（三浦半島）

飛鳥史跡めぐり実施報告

少年たちの「夢の王国」

「少年倶楽部」（後）

第二一三号（平成二十年三月発行）

西岡逾明—ある文人司法官の生涯（2）

伝えることの大切さ

第5回火山都市国際会議に出席して

小田原城主大森氏の仏教政策

須藤タミ子・田中英幸・斎藤良夫
富沢秀穂・和久井千鶴

小田原の郷土史再発見

小田原の梅干、始まりは粕漬か？

曾我丘陵のふもとにあった

田島人形芝居と「遊樂座」一座

小田原の商店街（4）

（多古・井細田商店街）

小田原の下町回顧

片岡日記（39）

（大正十五年五月）

阿部宗孝（陸柱）先生遺稿集追悼録

『思い出の陸柱』（2）

史談再録（3）

外郎の虎と早雲寺の虎

飛鳥の史跡めぐりの旅

史跡めぐりご案内（葦山・修善寺方面）

初詣・深川七福神めぐりに参加して

久松るす

平成20年度総会、講演会のお知らせ

落穂集

勝俣淳一郎

平倉 正

直江 博子

佐久間敏治

石井 啓文

野地 芳男

史料委員会

剣持 芳枝

片岡永左衛門

武田 敏治

中野敬次郎

隠岐 明重

田口 鏡子

平倉 正

第二一四号（平成二十年七月発行）

西相模のおける時宗の痕跡

小田原宿と参勤交代

西岡逾明―ある文人司法官の生涯 (3)

旅のつれづれ俳句日記

続・酒匂史談 (5)

諸白小路に住んだ人々

三浦半島史跡巡りの旅

片岡日記 (40)

(大正十五年六月)

史談再録 (4)

国府津の開発と山崎金五右衛門

葦山・修善寺方面史跡めぐり実施報告

小田原漆器の挽き物一筋

斉藤譲三さん (83歳) に聞く

平成十九年度総会報告

第二一五号 (平成二十年十月発行)

小田原宿の本陣・脇本陣

酒匂川の治水史に憶う

来年が現在の酒匂川筋の築造竣工四百年

西岡逾明―ある文人司法官の生涯 (4)

小田原の郷土史再発見

下田隼人の事件は「乱」だったのか!

続・酒匂史談 (6)

赤岩賢三先生のこと

―「続・酒匂史談」を読んで―

葦山・修善寺の史跡を巡りて

小田原の商店街 (5)

小田原錦通り商店街

片岡日記 (41)

(大正十五年六月、七月)

史談再録 (5)

東 好一

中村 静夫

直江 博子

剣持 芳枝

川瀬 速雄

隠岐 明重

田中 豊

片岡永左衛門

内田 武雄

勝俣淳一郎

鳥居泰一郎・佐久間俊治

総務委員会

中村 静夫

小野 意雄

直江 博子

石井 啓文

川瀬 速雄

長田マサ子

田中 豊

史料委員会

片岡永左衛門

怪異綺談

旅のつれづれ俳句日記

史跡めぐりご案内 (郡上八幡)

初詣ご案内 (隅田川七福神めぐり)

落穂集

二〇〇九年 (平成二十一年)

第二一六号 (平成二十一年一月発行)

小湖から曾我光海へ

小田原の郷土史再発見

小田原戊辰戦役の真相 (前)

―小田原藩と薩邸浪士隊および遊撃隊―

富士残照

わが町・南町地区の道・小路

旅のつれづれ俳句日記

小田原宿本陣 補記

産土紀行

小田原万年町の大火

落穂集

小田原の商店街 (6)

宮ノ前・高梨町商店街

片岡日記 (42)

(大正十五年七月)

史談再録 (6)

舟原の語源について

小田原史談雑記帳

大河ドラマ「篤姫」と小田原

郡上八幡・岐阜方面史跡めぐり案内

第二一七号 (平成二十一年三月発行)

早川港の春

門松 利平

剣持 芳枝

平倉 正

市川 清司

石井 啓文

植田 士郎

隠岐 明重

植田 士郎

中村 静夫

平倉 正

市川 清司

石井 啓文

植田 士郎

中村 静夫

平倉 正

史料委員会

片岡永左衛門

磯崎 健次

市川 清司

研修委員会

渡邊 敏一

江戸時代における足柄平野の新田開発について

西村和勇・草山俊憲・真木和男

高橋武司・久保寺登美男・青木正次

旅のつれづれ俳句日記

小田原の郷土史再発見

小田原の戊辰戦役の真相(後)

小田原藩と薩邸浪士隊および遊撃隊

西岡逾明―ある文人司法官の生涯(5)

小田原藩浅田兄弟の敵討

『孝貞義鑑』散策(1)

「最新小田原案内図」によって

小田原町内を散策

史跡めぐりご案内(飯田岡付近)

片岡日記(43)

(大正十五年八月、九月)

隅田川七福神初詣の旅

史談再録(7)

仇討考

平成二十一年度総会、講演会のお知らせ

落穂集

私の青春(前)

―京都練習飛行隊と終戦―

史談再録(8)

鉄道記念館(弁慶号)

片岡日記(44)

(大正十五年九月、十月)

史跡巡りご案内(近江路方面)

小田原史談雑記帳

「豚一様」と呼ばれた徳川慶喜公

落穂集

平成二十一年度総会報告

第二一九号(平成二十一年十月発行)

氏照考

旅のつれづれ俳句日記

小田原の郷土史再発見

「明良帯録」を書いた小田原藩士

小田原藩浅田兄弟の敵討

『孝貞義鑑』散策(3)

私の青春(後)

―京都練習飛行隊と終戦―

酒匂堰について

片岡日記(45)

(大正十五年十月、十一月)

史談再録(9)

二宮尊徳と古屋キノと言う人

初詣ご案内(豊川稲荷)

落穂集

菅沼 博

額田喜代春

片岡永左衛門

石井 啓文

平倉 正

田中 豊

劍持 芳枝

石井 啓文

鈴木 好

菅沼 博

佐久間俊治

片岡永左衛門

井上 英一

平倉 正

遠 志保

石井 啓文

直江 博子

鈴木 好

勝俣淳一郎・平倉 正

劍持 芳枝

武田 敏治

第二一八号(平成二十一年七月発行)

徐福―創られる伝説

小田原の郷土史再発見

小田原城の天守八尊と諸山十尊

西岡逾明―ある文人司法官の生涯(6)

小田原藩浅田兄弟の敵討

『孝貞義鑑』散策(2)

青春の大連(瀧本文江さんに聞く)

旅のつれづれ俳句日記

奇跡的なめぐりあい

第二二〇号(平成二十二年一月発行)

年頭にあたつて

植田 博之

蘇我、宗我そして曾我への

市川 清司

一六〇〇年の覚え書(1)

石井 啓文

小田原の郷土史再発見

鈴木 好

近代教育の父・村上珍休

剣持 芳枝

小田原藩浅田兄弟の敵討

戸塚 健一

『孝貞義鑑』散策(4)

鳥居泰一郎

旅のつれづれ俳句日記

片岡永左衛門

奉公袋と遺書と赤紙と

清水専吉郎

「もうひとつの横浜事件」

平倉 正

―浅石晴世をめぐる証言とレクイエム―

松島 俊樹

片岡日記(46)

史談再録(10)

(大正十五年十一月、十二月)

小田原の消防と火災(上)

落穂集

近江史跡巡りの旅

史跡巡りのご案内(下田)

第二二二号(平成二十二年四月発行)

小田原の郷土史再発見

秋山眞之、終焉の地と天神山周辺の別荘(前)

旅のつれづれ俳句日記

北条氏綱のもう一人の子供

蘇我、宗我そして曾我への

一六〇〇年の覚え書(2)

小田原藩浅田兄弟の敵討

『孝貞義鑑』散策(5)

小田原シルバー大学「自主研究報告」紹介

「酒匂川治水四百年を考える」

小田原足柄住民の集い「展示パネル(1)」

片岡日記(47)

年頭にあたつて

史談再録(11)

(大正十五年十二月)

小田原の消防と火災(下)

豊川稲荷初詣の旅に参加して

史跡巡りのご案内(曾我)

平成二十二年総会、講演会のお知らせ

落穂集

第二二三号(平成二十二年七月発行)

小田原周辺の大地を読む

旅のつれづれ俳句日記

小田原の郷土史再発見

組のお稲荷さま

史跡めぐり案内(日光・今市方面)

曾我の里史跡めぐり報告

落穂集

第二二三号(平成二十二年十月発行)

小田原山角町の肝煎屋敷

小田原周辺の大地を読む(後)

旅のつれづれ俳句日記

小田原の郷土史再発見

中村 静夫

片岡永左衛門

清水専吉郎

内田美枝子

平倉 正

内田 智雄

石井 啓文

鈴木 好

剣持 芳枝

小泉 文子

佐久間俊治

田中 豊

宇野 応之

平倉 正

中村 静夫

内田 智雄

剣持 芳枝

内田 智雄

伊庭八郎を説得した男・村上珍休
小田原藩浅田兄弟の敵討

『孝貞義鑑』散策(7)

蘇我、宗我そして曾我への

一六〇〇年の覚え書(3)

中沼薬師堂千年祭にお詣りして

栢山神社縁起私見

懐かしい小田原風景

初詣の旅ご案内(甲斐善光寺方面)

落穂集

石井 啓文
鈴木 好

市川 清司

田口 鏡子

木村 俊雄

市川 敬一

平倉 正

二〇一一年(平成二十三年)

第二二四号(平成二十三年一月発行)
年頭にあたって

小田原の郷土史再発見

学習院の小田原移転計画と田中光顕

史談雑記帳

秋山眞之終焉の地『山下家別邸実測圖』を拝見して

小田原藩浅田兄弟の敵討

『孝貞義鑑』散策(8)

蘇我、宗我そして曾我への

一六〇〇年の覚え書(4)

豆相人車鉄道開業当初の

おだわら停車場を探して

短信・箱根湯本「福住旅館」見学

小田原ゆかりの幕末の志士「田中光顕」

史談再録(13)

文庫流れ

旅のつれづれ俳句日記

懐かしい小田原風景

石井 啓文

鈴木 好

市川 清司

小林 一夫

右田 俊博

石井富之助

剣持 芳枝

市川 敬一

史跡巡り報告(櫻町・今市・日光方面)
史跡巡り案内(遠江方面)
落穂集

「小田原史談」目次一覧(追加分)

平倉 正

第二二五号(平成二十三年四月発行)

二宮金次郎と表彰

報徳思想の「立会人」不退堂聖純

二宮金次郎―その人と思想を読む―

尊徳「小田原仕法」畳置始末

小田原の郷土史再発見

小田原の剣術 鏡信一刀流師範

十二人の顕彰碑と墓標(上)

小田原藩浅田兄弟の敵討

『孝貞義鑑』散策(9)

第一回全国禹王文化まつりに参加して

史談再録(14)

「小田原史談会事始」の記

小田原シルバー大学文化祭

自主研究発表会開かれる

史跡巡り報告(甲斐善光寺方面)

平成二十三年度 総会・講演会案内

旅のつれづれ俳句日記

史跡巡り案内(小田原市南町界隈)

落穂集

付「小田原史談目次一覧」

中里 史子

田中 豊

剣持 芳枝

平倉 正

勝俣淳一郎

青木 良一

佐久間俊治

平倉 正

石井 啓文

鈴木 好

田口 鏡子

石井 啓文